止むを得ない処置だ(中川富弥学長)

かりっきりだった。その翌日、緒 はっきりしたことはいえない。数 学生会部

学生会館の設置目的を学生が遅

もらた。

--このロック・アウトに対し 動はもちろん今後も続けていくつ

に合きわたった。十年

させたい。大学法に対する反対行わからない、できるだけ早く発足

本下した。 「只会が、正門に陣取った

ち年田校

参加させるが、発足の時期はまだ

れると思う。その後、これをもと

討論を重ねていると聞く。中間答 これまで会談を二十数回も聞いて

学内の整備は相当かかる 徹底したクラス討論を期待

知れないが、今のところはまだ。



定価 1部 10円

表替口塞(LE) 七九八八八。 (大) 局五八一(内部以)

\$ 1517E



緊急特

市 京 都 (神田島区内) 市 京 都 (神田島区内) 1年分(沒有共)1000円



②明治大学新選学会196



機動隊導入さる 大学院で学生七人が抵抗

9 日

当日昼には二〇〇人が駿河台本校前をロックアウト粉砕を叫んでデモ行進をした。各派とも今回の当局の処職 舎も神奈川県警の出動により封鎖解除・ロックアウトを行なった。一方、全共闘系学生は松陰寮などに分散し に強く反発し、今後とも徹底抗戦をする構えをみせている。 機動隊の指揮者が「大学機から」

全学をロックアウトすると共に、学生の立入りを禁止し、当分の間休校にすることを告示した。なお、生田校

は大学院に立篭る学生七人が火災ビン・投石で抵抗したが、三十分後に全員が逮捕された。大学当局はこの後 中川富弥学長が警視庁に機動隊の出動を要請、直ちに駿河台本校、和泉校舎の封鎖を解除した。駿河台本校で 六月二十二日の全学バリケードスト突入以来一○○日以上にわたり封鎖が続く本学は、九日午前六時三十分

型芸命令が出ています」

迫った。「徹底」を運び出す長も見られた。

六時すぎ 機動 っ、その崩されたあい間か

を始めた。

5、公益執行妨害、凶烈強備集合

台下・日大病 罪、不退主現行犯で逮捕された六

た。無表情なその一題。下を向い

人の学生が機動隊に連れ出され

圧放水!」。放 マ桜を校舎の回りに手際よく打ち の材木が到著し、築者が厚いペニ 往来が激しくなった。午後八時 され、ロックアウト用のベニヤ板各校舎のバリケードはすべて数去 出動時間をむかえ本学前通りは (山楽ホテル)、十四日に全共闘談(和泉)、十三日活動者会議 政治集会(生田)を聞いて今後の 劾集会を開く 6日、当局弾 団交拒否で三〇〇人参加

回る。 クルクル

る。妨害する

近ちに逮捕す

「方、機動態員と記念館に入っ

まで行進、そこで集会を開き、配 けて「ロックアウト粉砕」を叫び に機動隊のサンドイッチ規制をう

学院を捜査す

「裁判所の発」間をカメラマンのフラッシュがと

つかんだ。願が印向けになった瞬 たノンヘルの学生に公安刑事が

が削進した。 元に火炎ビンが

の学内選芸を命じた。「学内にい

なお、学生は十二日に代表考会

生は直ちに学外へ出なざい」

の中に姿がかす。一るみるうちにベニヤの明大トリデ 本館では体育会学生の退去した かれた。 会(木村礎要は長)弾劾集会が約

| では、下では、大学院の、メディスチー学院・木村委員長によって担害された。 | のであれた。 | のである。 | では、大学院のメディスチー学長・木村委員長によって担害されていたのだが、中川

当初これは対学長・改革素が国いたずらに優雅な有給体限を過し

切禁止

五八一内三九三)。 事務局(第一八〇四三・総合学 務も一時次の場所に一部移転し ています、縦集局は従来のまま ックアウトに併ない、本紙の器 館旧館 (八号館) 大学当島の口 いたしました。続いて進常号を ライキ緊急特集号1として発行 特別が生ます。はお、学生

者」に二減間以上がかるしてから、今 また、この間を収合とは安治自 れ、月下旬まには済われないものとみ、対参門、相恵におだり、学年の出 が参り、教徒が委員会を開き、今後 する予定だが、今のところ未定である。

内、特に大学院の党院がひとく、 直ちにロックアウス学者に多大な損害を与える②学 ってパリケードの人など拠点となって大学問題の市 もそれぞれ五〇〇

芸頭が解除され

研究資料がなくなるばかり されたーとの理由から機能隊の

みられるように外人部域の勢と化

この必然が施すれば一し、一

に炎ビンなど大きに

で記者会見を行ないの九・三〇に
おお、との目の中川学長は午前九時小川町校舎」と耐った。

25で角材・火 間続き、その間大学は 休校にな

この念字ロックアウトは当分の

図器として押る。歳河台校舎はその修理・復旧

- 生由校舎 に二三個以上かかることから、今

学生の出入は一

というわけではなく、他に方法がなかっ一学生を学園に戻してやりたい。そして学であった。だから今回の接動除導入は、ないだろう。ロックアウト措置はできる

最の導入を察知して、前 った。昨日まで金共間後の学中に追い出され、学生の立ち入りを教えた。しかし、この 用の学生に選って過々登校する教諭員が自立 まま引き上げた。 学生の立ち入りを禁止した構内は静かだが 機動隊の一部は和泉校舎近辺に残留し、夜

法律にまつておせられます。

ついて再び学生と示合いを行なう 導入要請を決意したとのべ、

> が急は 泉キャ

中自九日

秦美明治大学

学生の校内立入は禁止された。

ており、壁や

パリケード封機解除後、各校會人

行可なく立ち入った者は

公舎のバリケード撤去に め出して学内に入る委に一般等年がららめし ※が出来るまでの養養には相当の時間がかか」 (交合が領土に組まれて ていた歌楽自義が、今日からは逆に学生を語 落書きや机・様子の接損はひとく、平常の授 落書が無言の抗戦 破損がひどい。第一校舎。 員会室として使用されていたため まねいていた様子が印象的であっ 一号館・研究室の荒廃・雑然ぶり

つになるか、また改革委員会の発

がと、事務学のある。 はやや手とすったが きには正門のバリケ

改革準備委員会の答唱はい

けだった。和泉校

現在の大学改革準備委員会は、

□主鞭決略線・が順導したという。似た彫情が探索ってきだしただ。⇒2年が「粉砕」を叫んて中止さるはいたがなり、は両者の間にたんだなと傷悪にもの後の注字部・聴ぎ部の名教授会とされた。よできない。もっといけないこと 日の金字数談論集会も進れた。そとであった。

社会的責任から導入

-9日はキャンパス-

歴学部もバリケードに用いられ

元通り戻された。ただ二階に

五〇〇人の機動隊が出動

順調に撤去作業進む

会は抵抗もなく順調 ガラスは切れ、部屋中に燃料が吹き致らざれ 様な感じさえした。長近くなり、ロッ ピン四〇〇本程が置かれ、歴上 にそなえ付けのコンクリ

然として立ったままの教員の姿が ロックアウト

粉砕でデモ 司念で始まり、横谷優

「上を向け上を」と乱器 に頭を り、本館前をデモ行進したが譲ち 規制され、同地下鉄駅構内に結集 神田淡路町公園に午後十時ごろ集 ら、政経・商・法三学部の教授会 委からの挨拶が続いた。 ある」と類に勒し、告 を表明した。次いで、各町台

は終った 通りを学生芸館までジグザグデモ が入ったと報告され、場内は一瞬 緊張し、最後までバリケードを守 棚に決定され、九日頃にはロック り返し、インターを斉唱して集会 り抜こうとシュプレヒコールを繰

を行ない気勢をあげた。 農助手共闘が通告

展望

の通告を学内各関係機関に郵送し

集会や、四日の全学集会ものいい機会であった教験員

本校記念において、全明企共闘王 翼・日共)権力のもとに、不当に本校記念において、全明企共闘王 翼・日共)権力のもとに、不当に 会(木村連新は民)郊幼集会が約の乱入・ロックアウトは必要であ催による学長・大学改革準備委員・も現闘争を圧殺すべく武装警察院

三〇〇名の学生の参加のもとに開る。私達はこれら権力はよる勝分かれた。 力、無策に強く抗議するため研究で来た教授会・教員の権力、無総

お知らせ 本紙はパリケードスト の現況

日も早い、解除。を

教務理事 田

中豊喜

だたないし、カリキュラ ればならないのかと考えさせる。これは大学解体論だとし、

会生の拠点となり、本学だけの問題ではなかったこと、また、求めるための手段としてではなく、大学を吹洽闘争の拠点とし機動取導入は大学のとるべき措質ではなかったが、本学が他、けられたのではないかということである。だが、学生は改革を

機動隊導入 せて、さらに、「別様東大会代化物語」の発展に考め込む連連権の文元をと続いる他的にあざい。おければなどなどでは、大きらに「別様東大会代化物語」の発展に考め込む連連権の文元をと続いる他のはあせいとなることであ 歴において、機動影響とにもなど等当局の反動的なロックネウ、集をまて、さらに自己が発生され、この万をもって今後対当局、薬を含め、しかる改革業業をものも切らかにされずいない段、てゆく。10・10の1000人にのぼうぶたの学が確認された。 新聞のでは、大学の前に向けるとはなく、影響形に作。 会国会議師の下に指摘的体学を急集し、大学や名様り気け 学当局が、

警察権力イ

この事態は、明らか

的希想のみで圧殺してきたものである。をはかろうとも決して負けはしない。 第的な行為は決して忘れないし、絶対 大学解体、総反乱を勝ち取る連動 共調に攻撃をかけてきたことに終わる に対する抗撃を行なって行きたい。 怒り」をもつて抗議

学生会 両 川

年安保、帝国主義的再編

敏雄 断回闘い抜く覚悟だ。

国家権力の足かせ 谷 久 っていかなくてはならな

人しか集まらなかった。大学側はシッ 粉砕すべく酵争を推し進めて行く去る四日の全学集会には学生が大〇〇 とも大学当局の策動と国家権力の



授業のメドがついた

である。改革準備委員が中心

これでようやく投業再開のメドはついたといえよう。出来るであると思っている。

その一歩手前と言ってよか。

両中執。と話し合う

ご判断した。やむをえず国法 もし本学での授業が不可能の場合は、他の場所をかりてでも

現在の大学紛争

1) チャラの経過な過程である。 は、金米に設定されている。 「成場ではなっただれて、18 1) ケャラの・経過なる場である。 は、金米に設定されている。 「成場ではなっただれて、18 1 とっただった。 「成場ではなっただめ」 「のは、18 1 とっただった。 「のは、18 1 とっただっただった。 「のは、18 1 とっただった。 「のは、18 1 とったが、18 1 とっかが、18 1 とっかが、18

ち別書見の公害だと思う。本学の現状が、ペトライキが一番いけないという。
かの言にすることは、いわば大学、流してほしい。結論的にいえば、
の口
は を処点にすることは、いわば大学、流してほしい。結論的にいえば、
のいまって、学生が大学。命がどうなるのかということを認め
いまって、
のいまって、
のい なことはさけなくてはならない。 すべきだ。学生は学生としての運 わからないと言うのが、なことはさけなくてはならない。 すべきだ。学生は学生としての運 わからないと言うのが、 ネトライキが一番いけないという らの処置 社会的責任か

> <u>|</u>|○・|||で (金寮委員長・エニ)

かったと思う いたしかたな ほしいものである。 (工学部等)

関口成

ないと思っえない。ただ、この紛争でいまま(異数はいかと思っえない。ただ、この紛争でいまま(異数はないとなったのではないまま(異数はないないといま)

・で学長の意 ったので安堵している。 の人気取りのために、ボースをと 総反撃行動を

中島 悦縁 いちぶらのほうできょうしゃ からない ままり 一般学生は無 のとり 相感 カルン・カ ガン・と 痛感

6·23 全共職は二十五日に団交要請

四号館バリ封鎖。 6・26 全二部総決起集会開かれる。 人学側は団交の延期を申して

6・30 大学側は会共闘から申し入れのあった団交を七月三日に行なうことを決定。 6・29 会共闘は三十日に団交を関く 管の妄望菩提出。 6・27 連合教授会が開かれる。

を使用することは ある。当品は 薬師を かわってもらいたか 自治の自覚か 起しての音は の想度では、

攻撃を糾弾 を糾弾



6・6 緊急連合教授会が開かれる。 「和果地区を団交」が関かれる。 6・7 牛田地区で「理事会・養学部 教授会団交」。

6·11 新發調家が通り窓に過行人家 6·13 養差認識学生人会を向く 6·13 養差認識学生人会を向く 10·16 養達成後自然(学売) 6·16 養達成後自然(学売) 6·17 学生の認時学生人会与人相 全種文

農学部第一校舎をバリケード封網 「研究省集団」が大学院バリ封網

6・21 年 紀代 19 紀大校舎がパリ封鎖。 ・ 22 工学部校舎がパリ封鎖。

「大学の当回する情勢とそれに向する力針」を引達する家職「大学の当回する情勢とそれに向する力針」を引達する家職 大学立法反対私教祖デモに、本学から二〇〇人参加。

木学四署連合(大学、教職組、専教選、職員会)は「大学立法反対」をかかげて国会請願でも、 対策水部会議を開き、七貫三日に団交を近だ、議場は①大学対策水部会議を開き、七貫三日に団交を近だ、議場は①大学

いっしょうしょう 全学代表と当 に話し合え 型あいう形で 学集会があ

5·17 中川学長、大学立法に同時声

5・16 学生電と顕著観察2の団交が 5・16 学生電と顕著観察2の団交が

保

血が通う場に 教官と学生の

5・20 学館乱入・不当逮捕事件につ

5・21 学館温祉に関する対域事会団 交階かれる。

5・27 理事会・連合教授会との「総 5・27 理事会・連合教授会との「総

5・28 数職組は大学立法に反対する

出。

「十三日の教養師の抗議等との決議を対け、大学立法院行の議職者提生的大学立法に対する教職員の抗議等との決議を置づる、学長ならびに大学立法に対する教職員の抗議等会が開かれる。

六項目の質問状につき意見交換が行なわれた。同日の団をその大学側の見解、これまでの基本

学生側は、異体的な大項目要求の討論に入る。 学生側は、学長へ権力集中がなされていると指摘

新寮闘委が学校制に公開資間状を提出。

との大会でスト権を確立、五号館をパリ対論。

で、大項目要収貨機に14円)の提案した「中数額・大学では、 大項目要収貨機に14円) 1条を、賃配三七七、反対110人、 で、大項目要収貨機に14円) 1条を、賃配三七七、反対110人。

体資金主催の公開計設会が開かれ、学生会・学売会国中等の代表も加わり、活発な討論を展開。 十七日の学生大会で確立されたスト権の行使を全面的に十七日の学生大会で確立されたスト権の行使を全面的に 一部政権教育学会の学生大会で無期限ストを決議。一部政権教育学会の学生大会で無期限ストを決議。一定調査年曜の文学部教授会団交が開かれたが進展せず。

ド封護反対。集会が開かれ、体育会の有志も加わりデモ行道。全眼クラス連合議備会主催の"大学立法反対・企学バリケー上記集会で全一部共闘会議結成準備会が落足" 立法・中教物を目的は一を叫んで街頭デモ。全共開は何次を指電されたため、弾効果会に切り換え、

Νĺ IJ ケードス ١ 0 事実経過

機動隊が学生会館へも人。 象

動き

4・25 連合教授会開かれる。 素の教授会の第二、二十一目付けの文語代資産達(「大学内に対する上記分表に対する」とでは、大学内に対する上記分表に対しては、大学のでは、大学の主法の目が表現の計算がある。上述会会としては、大学の目前を推薦した。 東京教授会としては、特別行業とは、大学の目前を推進から販達するものである。とする理解を終わる。

学売会と通合教授会の団交開 「連合教授会団交際かれる。 本生の自治とは同質のものでない。 を学の自治とは同質のものでない。 を学の自治とは同質のものでない。 を含めてい、大学の不来的機能は研究 を表演が中心がな要素をつたが、表受会の自治はおのずから かまのではいる。 を表演が中心がな要素をつたが、表受会の自治とは同質のものでない。

っているのであって、国家権力に迎合、奉仕するものではないの大学の教育は学年に刑刑プ、批判がを募うということに役立の大学前の保管であるのがあれば、これも大学首部の保管であるに多考するものであればく方がする。と同時に内証の研究・教育に参考するのであればら対する。と同時に内証の研究・教育・大学劇の見解は次の達り。①中教策各用が大学の目治を外から後等するものではない。

日本の主義を表して、「中央教育基準会の各単に反対する期間、文を構える田文和に会見し、大学関係が近の企 でを由まるよう要請。 「大学の記録」、「大学関係が近の企 大学の記録」、「大学関係が近の企 大学の記録」、「大学関係が近の企 大学の記録」、「大学関係が近の企 大学の記録と、「大学関係が近の企 大学の記録と、「一年の教育基準会の各単に反

管理・規定権をおくり級終訴が対一や中間は今共精験側による実力競争を蓄高。同時に不適自要求(①学生部所に急力兼回函数の完全自由金建設)が会由手を超近の景色を再編載争勝利の健保条学工学側や回真担)を掲げる。

力闘争による中数損答用、大学立法の汾砕」など是言落義。学生側は「学校権力の汾砕と学生の手による学園の再編「実

道求。 学生の毎日機関学生部特許」をスローガンに、 砂」「学生の毎日機関学生部特許」「大学の帝国主 学充会中教は、「中教養各自粉砕」「大学の帝国主

Jを対えていきた。ら変をところがなかった。大学を

ただただ暗然学園の荒廃に





















和田 英夫

4 12 日

4・15 前日に引き続き、抗議集会開 かれる。

「大学内」 圧倒的多数でスト権健立。沖縄デーに向け二十六日から三日 素権の行。間の企学文トを決定。

学生前は、全学一致の抗器スト・集会必要求。

日大デモと何ら関係のない本学生が多数、不当課権される。日大デモと何ら関係のない本学生が多数、不当課権される。

交代も考えよ 大学の幹部の

ことんやれ は野波し同然の決勝である。しか

出来ける限りの改革を推し進めなっかと思うが、

明治中

- 高程長)

6・18 学売会と連合教授会、理事会との団交が行なわれる。

学生会中教育製品屋により、新参加及に同川東維吾(数四) 験党を全点臨時学生大会で無期限パリスト

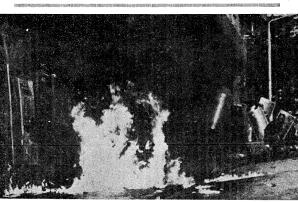


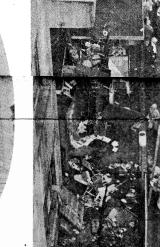
大学立法約器・六項目要求をスローガンに大

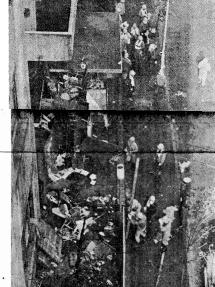
研究資料の補充など簡単位の復旧費を要すると まだ本格的には作業は進んでいないが、学園 ・学園内の整備、被損品の購入・修理さらに

生はこの上で、デモを行ない、そして、最後のな学生。カルチュ・神田にそびえるこの塔は高た学生。カルチュ・神田にそびえるこの塔は高た学生。カルチュ・神田にそびえるこの塔は高た学生。カルチュ・神田にそびえるこの塔は高います。 内が旧来の姿にもどるのは、相当な明間がかか るものとみられている。まさに――つわものど もの夢の跡――である。

が点後し、整備を始めている。管田濃の話しで **陇導人・ロックアウトにより、急熱層間は転回** 木学の紛争も、十月九日の大学三届による機動 館・七・十一号館に泊り込んでいる。 はベニヤ板のカコイに一変した。 金銭搬退し、机・椅子・ロッカーのパリケード 別台本校には連日教職員一五人づつ三〇人が木 した。各校舎を附等本部に占拠していた学生は 通南口には数戦病が交代で当番にあたり、皺 さながら。明大時にの観を呈するその内で 明ざらしにあった 各種務案の 器具を 職員









10・8 公園を共動集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・総決起集会・ 10・10 全国各地で「ベトナム反戦、 安保物砕、沖縄騒争勝利、佐藤助米

統一決起集会が開かれる。 10・2 体育会の質問状に採用学生部

9・26 評議員票級会中比。 9・29 対政革準備委団交は両委員会 が担当しただめ中止。

大学朝は新聞に「後期」 発雲の開始ほどきない旨の広告を襲 戦。前日の日大法・経教経典等で外の今共戦の広告を選 が、日の日大法・経教経典等で外の今共戦の大学の大学教会の監視機をとめ、十月四日に八郎山ケラウンドで 大学教会の監視機をとめ、十月四日に八郎山ケラウンドで 「全学集会」を行うことを決定。

を課金の対する機関の対する機関を含す、実施を設金を持ちませる。 を課金の対象を使用している。 を課金の対象を使用している。 大き、自然に関金の関金を表す。 大き、自然に関金の関金を表す。 は、日本のでは、一般である。 は、日本のでは、日本のでは、日本のである。 は、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のである。 は、日本のでは、

10・4 八幡山グラウンドで開かれる ・上に動じあい、流鳥 ・上に動じあい、流鳥 広告を新聞に掲載。

李要会・会共輔國權・他大学年の本学使用に関する問種を討論を持ち、これに近く前を共興した。 一郎大統議長代理が出席しをされて、これに近く前を共興した。 一郎大統議長代理が出席しを含むだったが、 別効果など間に、 体育会工程による公開が創金的などの、別の効果など間に、 海の製造など間に、 われ、本学会共同二千人も参加。

案ともいうべき改革案を配桁し引給を行なう。 大学改革準備委員会は対格本部会に合間会議をもち、中間意 この目前のする声数程念、ガロの研究投会も発展で動で中止との目前のする声数鏡に説明する「したなどを決める。の数疑念を聞き収録に関する「したなどを決める。分類を認識する「したなどを決める」というない。 助手共闘は"評談会運動」の構築拐場

b・24 全数職員集会は南と年生の団

孝生側は「改圣庫傅委員会による」代化路線の粉砕で機導体 学生側は「改圣庫傅委員会による」代化路線の粉砕で機導体

職員組金開催を決定。

を、企業でのできませった。中では、中では、日本のできません。 を、企業でした。大学のでは、日本のでは、 等官は中央全市額、東学大会共和は本郷より場所を移動の 会員は日本大学を表現より場所を移すとの確認。 月十七日里でに本学本郷より場所を移すとの確認。 年度が7年上の会議を主きませる。 年度の日本の日本の日本の場所を移するのでは、本版が大学を大学の日本のでは、本版は大阪の管理する日本の る。信局 新典文に不対議文学系教授ら数員十一人、議員二人、 新典文に依付して、大学法と対する法学部教授会は七月三十日 の団交を確約して、大学法と対する法学部教授会は七月三十日 新典文に不対議文学系教授会は七月三十日

8.7 任然资本用条股份的第一 0.75770克米斯特 1.75770克米斯特 1.75770克米斯特

全部会議に関うを設定して主求の構え。
た時中旬に団文を設定して主求の構え。

全帯共闘会議は、法原養来卒者の卒党派験を届止。

大学削は、百度団交を持ちその開産試を行なわない治確的

7・4 学系中級、全部共働会議 から「6・11の中国人やがある。 連して実施では、新祭師委との九月 中の窓し合いを延順する合同客。

フ・ァ 学校町が学生会中執へ質問状

7:9 新寮朋参は本部のある大下室 ドルへ押しかけ位交保业を要求。 て・10 大学制は新育師をとの団交に にじる。

は、これに心する旨の確約者を取り交す。 大半側は、学生副が寮陽署に関して話し合いを申し入れる時

金三部共闘会義結成大会開かれる。

の「全学共観会議」についての参生家について軍大学の自治 についての新し合いがおした村の北京、大学商と学生領の見解 と王振は三日の場合と同様で在原はなられず。

文団交担内抗議集会が関かれる。

次面は影響学への影響のない。全質のないはない。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。

ケードスト の事実経過

Ń IJ

ら一名ずつ感想・意 て、今般の明大闘争

1」の事態を踏まえ 欧導入・ロックアウ 紙では、との「機動 今の一つに「救職員

しとに教授会に対

あるといえよう。 を見い出す "時"で 的紛争解決への糸口 本質を見極め、抜本 的段階とそ、事態の

| 10.00 | 10.00 | 20.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10.00 | 10

· らない。 それには、

が生されなくてはな が、今こそとの言葉

大学自治は空洞化

のではないであろう。

を根ி分する者は、つねに己れからの定点が求められ、定率したがって、それは単なる目標ではなくて、永遠 の部式会社や社会なの影響をあざまのは、歴 アランズの影と、「無お、明・ないまだしたの数を会し大きあり、その意識で重要の漢、51」といのがあるが、大きは、いつの時につくとの高級というのは、自然、その「月の書でなければならないのではなるの、シンである。

(数学)

私の眼がひがんでいるからなのなろうか。(養起) ただ美しく装ったものや、激しい主要や行動が、 ただ美しく装ったものや、激しい主要や行動が、 より一層大きいもの

しているものであるといわざるをしているものと注意されるが

調金を収会がこのほど中間報告を拍表したとして、以下その報を拍表したとして、以下その報を拍表したとしてが、これは一九六三年発表のものでした。あらためて関係者におわびた。あらためて関係者におわびた。あらためて関係者におわびた。 最とは智川のSS中政験組制度(9月公日付)二面「ストの背(9月公日付)二面「ストの背

後略=諸問撃項は次号へ)

3 思こう風

だようなものである。むしるみかたによっては一層ウトはいわば「ウミ」がたまったまま帰口をふさい

療法

と循筆があり得ないという、危機感の顕在化であると強く恥ずられるの中の平和」の中でしか繁栄があると強く恥ずられるのである。

き、私はこ の事実の前 に、われわ が、「現在 が、「現在

日本の一般の主義を対していません。
日本の一般の主義を対している。
日本の一般の主義を対

らの責任において、すみやかに大学の民からの責任において、すみやかに大学の民からでは、とれるに、とれるに、となった。このことなりに、母に、授業となった。 解決をはかるために、大学当局がみずか

である。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。



ペンを持つの対いやには、0歳には、1个の名目が、普及を呼び高をなく、この ・ 「一方山の香煙は、水中から、「ラル大で」は、そい近年でも選をでいる。 ・ 「一方山の香煙は、水中から、「ラル大で」は、そい近年でも選をでいる。 の表表で、時で、地面の自由、水大学の名様が、この高年金属で達成であるのか。 ・ 「一方山の香煙は、水中から、「一方山の木田大田」は、100円で、100



残念でならない。 もとめていた私にとって政にを果してしまった。

睦 もとより、しとししにいたるまでに、

進展に切応して縁敬に次所をくだす責任 いであろう。とくに、緊迫した、事態のいであろう。とくに、緊迫した、事態の な判断を困難にさせたことはいなめない。 体制の欠如は、数職員の何記記取